

令和5年度 遠野市立青笹小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立青笹小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 時間外在校等時間、年間360時間以上の職員が9人いる。
(360h～500h 4名、500h以上5名)
- ◆ 特定の職員に業務が集中し、時間外勤務が常態化している。
- ◆ 数値に表れない持ち帰りの業務を行っている職員がいる。

目指す姿

- ◆ 職員がライフワークバランスを大切にし、仕事とプライベートにメリハリを付けながら生活している。
- ◆ 管理職による実態把握のもと、業務改善や職員の体調管理を意識した助言等を行い、職員がやりがいを感じながら業務にあたるような職場づくりに努めている。
- ◆ 業務の計画的遂行やスリム化で、教材研究や児童とふれあう時間を確保できている。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校時間、休日出勤時間の削減

- ◆ 時間外在校時間を確認して各自に知らせ、自身の働き方改革への意識を高める。
- ◆ 年度始めや年度末といった多忙月以外は早めに退勤できるよう呼びかけをして、年間を通した勤務時間の平均化を図る。

取組② やりがいを感じる職場・支え合う職場づくりの推進

- ◆ 互いに声をかけ合い、支え合い、協力し合えるあたたかな職場になるような雰囲気づくりに努める。
- ◆ 業務に関する職員の声を傾聴し、その声を生かして業務改善することで、参画意識の高いやりがいを感じる職場づくりに努める。
- ◆ 時間外勤務が多い職員と管理職との面談を設定し、健康維持に努める。

取組③ 業務内容や時間の見直し

- ◆ 職員会議前に管理職と主任とで運営委員会を行い、論点整理をすることで短時間での会議を目指す。
- ◆ 管理職が「働き方改革」の観点から率先して業務内容の見直しを図る。
- ◆ 職員個々の業務量の平準化を図る。

具体的成果目標	関係する重点取組
目標① 時間外在校等時間が年間500時間以上の人数を3人以内にする。	①、②、③
目標② 学期末の職員自己評価の肯定的回答が9割以上になるようにする。	②
目標③ 職員会議の時間を勤務時間内に収める。	③